

令和4年度 1月号

蕨市中央6-8-25

Tel 442-2672

児童数	(名)
男子	204
女子	174
計	378

明るい子 かしこい子 たくましい子

元気がある 夢がある 楽しい学校 中央小



中央小だより

新年を迎えて～世界を見据えて～

校長 原田 卓治

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

さて、今年の干支は卯(うさぎ)です。干支の順番のいわれは様々ですが、一説によると、神様が動物たちに「1月1日に集まった順にごほうびをあげよう」と声掛けして集まった順序だというものです。ねずみは牛の背に乗って、ゴールに到着したところで背中から降りて、一番に。身近な猫がいないのは、ねずみが「神様のところに集まるのは1月2日だよ」と嘘をついたからだとか。猫がねずみを追いかけるようになったのはそのときからだというものです。

また、「卯」という字は左右に開かれた門の形からできたそうで、閉じていた門が開き「とび出る」という意味があるそうです。それとは別に、祭りの際に生贄として捧げる肉を2つに裂いた形から出来たとされ「分ける(区切る)」という意味を持つ説もあります。

このように「とび出る」や「分ける」という意味から、卯年は「飛躍する」年や時代の区切り、「契機になる」年と言われたりもします。

ところで、日本以外にも十二支が使われている国があるそうで、その国によって動物に多少違いがあるようです。ベトナムではうさぎではなく猫、牛は水牛、猪は豚になっていたり、モンゴルでは虎のかわりにヒョウが使われていたりするそうです。

さて、話は変わりますが、昨年開催されたサッカーワールドカップの日本代表の活躍は目を見張るものがありました。残念ながら、悲願のベスト8進出はなりませんでしたが、ドイツ・スペインの強敵に勝ち、更にクロアチアとはPK戦で敗れたものの引き分けという立派な成績でした。

この結果をもたらした要因の1つは、私見ではありますが、代表選手が海外のクラブチームにて技量を高めたことは間違いないと思います。選手の中には、そのクラブチームで活躍がかなわず、ベンチもしくはベンチ外で過ごしていた選手もいたと聞きます。しかしながら、その選手は決してくさらず、自分を信じてワールドカップの晴れの舞台に立ち、大活躍していました。

どの選手でも、言葉の壁もある海外での選手生活は、日本での生活に比べて過酷であったであろうことは、想像に難くありません。そのような状況で、自身を鍛え、苦しみを乗り越えていった経験そのものが、今の日本を強くしたのでしょう。

これからの子供達の相手は、国内ではなく、世界なのです。

令和5年1月1日・初日の出画像(東伊豆から太平洋を望む)

(別途通信料がかかります)

